

ごみを減らすと生活が豊かに

ごみ処理に1人当たり年間約1万3000円

令和4年度のごみ排出量は、2万8023tで、そのうち家庭系ごみの排出量は1万9742t、1人1日当たり約527gでした。

令和4年度のごみ処理費（収集・資源化・最終処分などの費用）は、約13億4712万円で、市民1人当たり約1万3000円を負担したことになります。ごみ処理費用には、ごみ袋や粗大ごみシールの売上金（約2億9713万円）と約10億4999万円の税金が使われています。

皆さんのごみ減量の努力により、確実に処理費用を削減できます。ごみの減量の取り組みに、協力してください。

「雑がみ」 捨てないで!



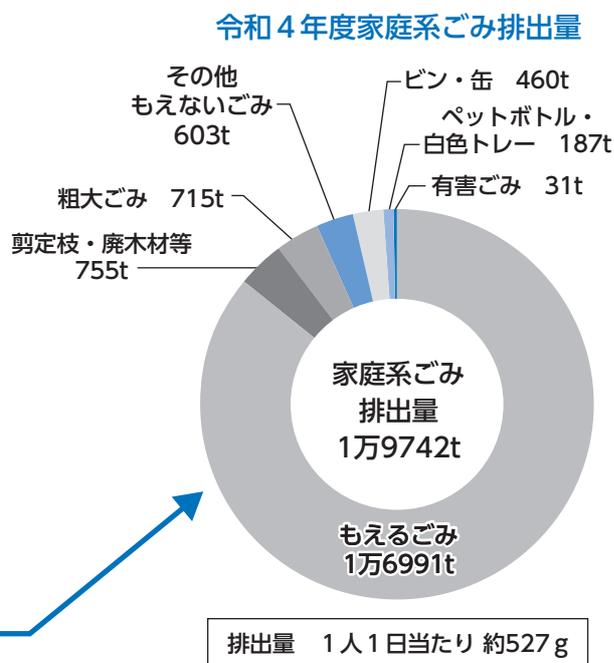
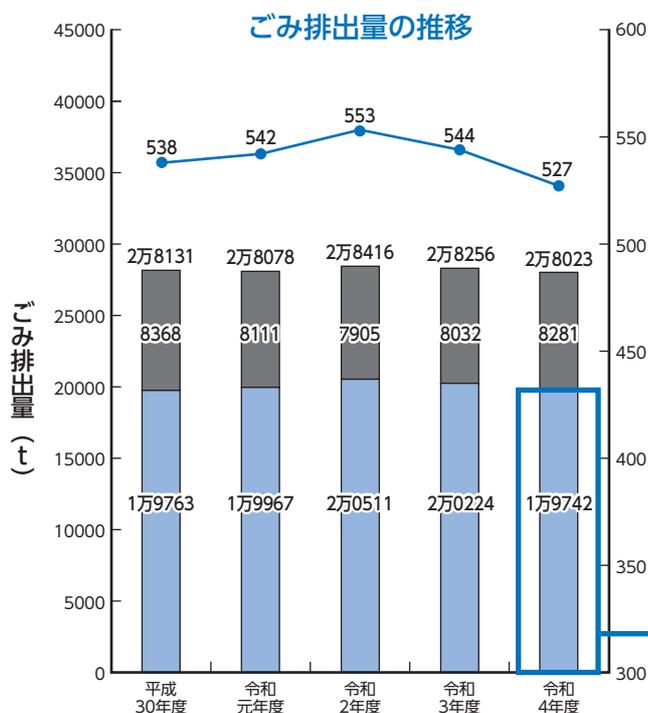
ごみの現状 生ごみと雑がみがキーポイント

もえるごみの中には、賞味・消費期限切れの食品や調理くずが多く混じっています。分別すればリサイクルできる「雑がみ」も多く出されています。

これらを減らすことが、ごみ減量につながります。

ごみ減量のポイント

- ◆食品を買いすぎない。
- ◆賞味期限と消費期限の意味を知る。
 - ◇賞味期限 おいしく食べることができる期限。この期限を過ぎても、すぐに食べられないことはない。
 - ◇消費期限 期限を過ぎたら食べないほうがよい期限。
- ◆野菜などの傷みやすい食品は早めに使い切る。
- ◆食べることができる量に合わせて調理し、作りすぎない。
- ◆野菜の茎や皮を捨てずに使って調理する。
- ◆古紙等回収倉庫や集団回収に出す。
 - ◇新聞紙・ダンボール◇雑誌◇雑がみ（包装紙・トイレットペーパーの芯・菓子箱 など）◇飲料用パック◇古布
- ◆資源ごみはきれいに洗って出す。
 - ◇ビン◇缶◇ペットボトル◇白色トレー
 - ※汚れているものは、リサイクルできません。
- ◆リユースする。
 - リユースショップ、フリマアプリを利用する。



●問い合わせ先

循環型社会推進課生活環境・最終処分場担当

☎(580)1889